

日時：平成 25 年 1 月 30 日 10:00～12:00

場所：JGS 会館

出席予定者：内藤，菊池，高橋，坂上，重村，伊藤，並河，清木（西村代理），若井，森川，沓澤

欠席予定者：佐々木，松島，後藤，橘

議題：

1. 前回議事録案

【資料 1】

→確認した

2. 各グループの状況について

(1) 会員サービス

【資料 2】

→企画②（若手技術者による実務経験発表会）は，若手技術者主体。

→企画②に関連して，例えば，発注者と受注者のディスカッションができるような場が提供できると良い（受注者側はありがたい）。また，防災・減災に関するものなど，テーマを設けるのが良い。

→企画③（教材コンテスト）については，模型実験（模型によるデモンストレーション）をよくやっている方がいらっしゃるので，その様な方を特別審査員とすることも考えられる。

→コンテストの副賞で，地盤工学会で使える商品券などを贈ることは，内部取引になるため難しい。関東支部発行のもので，新しく発行するものであれば，それを見込んで印刷してもらってそれを渡すことも考えられる。

(2) 茨城県 G

(3) 栃木県 G

【資料 3】

→(2)の企画（高校・大学生向け事業）は，会員サービス G の企画③や④（親子参加企画）に近い。会員サービス G のものは東京近郊での開催を考えているようだが，各県でサテライト的に実施することは検討できないか？

→手薄となっている東京を主眼に置いているが，連携も検討したい。

(4) 群馬県

【資料 4】

→「群馬の地盤」のフォローアップ（課題解決型プロジェクト）を実施し，その成果を公表していくことを考えている（本来が学会としてやるべき学術的活動）。

(5) 山梨県 G

(6) 千葉県 G

→習志野市と連携して，実施予定。

(7) 埼玉県 G

【資料 5】

(8) 神奈川県 G

【資料 6】

→必ずしも神奈川県である必要もないものが多いが，他県と連携していきたい。

(9) 研究委員会 G

→本日の午後，会合を予定しているので，そこで議論予定。

→研究委員会の成果の公表，10周年を機会に，地盤工学の根本に関する研究委員会を立ち上げることなどが考えられるが，研究委員会が本来すべきことを実施することが第一である（無理にイベントをする必要はない）。

(10) 支部発表会 G

【資料7】

→各Gで企画があれば，特別セッションを利用可能である。希望があれば，5月位までに連絡すること。

→一般の方にも受ける講演会（地盤工学に関係ない話や，歴史的な話など）を実施することも考えられる。

→ただし，有名な方を呼ぶとなると，それなりにお金がかかる。

→発表会前後（長めの期間で），例えば，日本科学未来館で地盤に関連する展示をするようなことは，考えられないか。

→再来年に向けて，検討することも考えられる。

(11) 企画総務 G

コンクール，記念グッズ，東京でのイベントの実施のための組織を作る予定

・各県Gなどを跨いだ企画，若しくは，その様な形で実施可能なもの（コンテストやシリーズものの見学会など）が提案されているので，一緒にできるものは，是非一緒にやっていただきたい。

3. その他

・来年度の計画・予算に反映頂きたい。

・来年度予算は全体で420万なので，各グループ50万円を目安に考えていただけると大変助かります。

・次回は，4月（総会前後）を予定。